

ドン底で、

笑う。

なれのはて

2020
東京ドキュメンタリー映画祭
長編部門グランプリ・観客賞

監督・撮影・編集: 桑田 剛

音楽: 高岡大祐
整音: 浦田和治
配給・宣伝: ブライトホース・フィルム
製作: 有象無象プロダクション

2021/日本/DCP/カラー /120分
©Uzo Muza Production

nareno-hate.com



フィリピン貧困地区でギリギリ生活を送る日本人の男たち。
失い続けて無い無い尽くし、でも生きる。この土地の人々と共に



ここは天国か、それとも地獄か

喧騒と熱気渦巻く生温かいカオス、フィリピンのスラムへようこそ 帰国することを諦めた日本人男性たち——“困窮邦人”と呼ばれる 男たちの生活を7年間追いつけたドキュメンタリー！

マニラの貧困地区、路地の奥にひっそりと住む高齢の日本人男性たち。「困窮邦人」と呼ばれる彼らは、まわりの人の助けを借りながら、僅かな日銭を稼ぎ、細々と毎日を過ごしている。警察官、暴力団員、証券会社員、トラック運転手…かつては日本で職に就き、家族がいるのにも関わらず、何らかの理由で帰国しないまま、そこで人生の最後となるであろう日々を送っている。本作は、この地で寄り添う暮らす4人の老人男性の姿

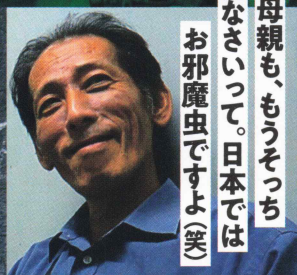
を、実に7年間の歳月をかけて追ったドキュメンタリーだ。半身が不自由になり、近隣の人々の助けを借りてリハビリする男、連れ添った現地妻とささやかながら仲睦まじい生活を送る男、便所掃除をして軒下に居候している男、最も稼がないジープの呼び込みでフィリピンの家族を支える男…。カメラは、彼らの日常、そしてそのまわりの人々の姿を淡々と捉えていく。



全てお金です

優しいけども、

フィリピンというと、



お邪魔虫ですよ(笑)

居なさいって。日本では

母親も、もうそっち



我が人生悔いだらけ

ツライけど幸せ……



日本ではこんな幸せな気分にな

ったことはないし、苦労してるけど、

お金ないし、苦勞してるけど、

何故、彼らはフィリピンでなら生きていけるのか？ “幸せとは何か”を日本にいる我々にも突き付ける

本作を監督したのは、原将人『20世紀ノスタルジア』(1997)、矢崎仁司『ストロベリーショートケイクス』(2006)、松井良彦『どこに行くの?』(2008)などの助監督を務めた桑田剛。当初はテレビ番組のディレクターとして、「困窮邦人」が番組になるのではと考え、フィリピンに通ってリサーチを続けていたが、内容的にテレビでは難しいと判断し、映画として発表することを決める。それから7年間、断続的に一人で現地に通い、彼らと交流を深めていく中でカメラを回し続けた。

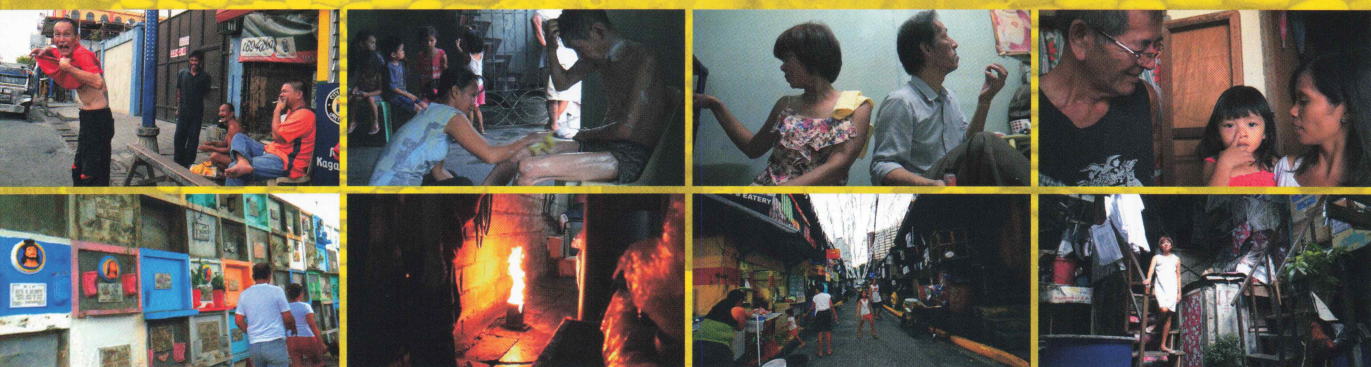
それぞれがそれぞれの理由で祖国に居場所を失った男たち。日本で生きていくことができない彼らが、なぜフィリピンでなら生きていけるのか？ 独居老人、孤独死の問題が日本で取り沙汰される一方、金もなく、若くもないのに裸一貫で海外に暮らす男たちがいる。明日の生活もみえず、とても幸福とは言えないシビアな生活にも関わらず、彼らの表情は不思議と豊かだ。「自業自得」の果てに辿り着いたフィリピンのスラムで、男たちは何を見たのか？

監督・撮影・編集：桑田 剛 音楽：高岡大祐 整音：浦田和治
製作：有象無象プロダクション 配給・宣伝：ブライトホース・フィルム
2021/日本/DCP/カラー/120分 ©有象無象プロダクション



nareno-hate.com

@narenohate2021



なれのはては、絶望の果てか?!
12月18日(土)より全国順次ロードショー!!

★特別前売鑑賞券 1,400円(税込) ※当日一般1,800円の処

WEB割限定 なんといつでも1,500円!

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿いドコモショップ左入ル

新宿 K's cinema

03(3352)2471 www.ks-cinema.com

◆各回入替・全席指定◆



公式サイトにてインターネット予約できます。 ※鑑賞日の3日前AM0:00より対応 (特別鑑賞券での予約は窓口のみ)。詳細は劇場まで